

## Kビジョン放送番組審議会(2013 年 7 月 16 日)

放送番組審議会(第 16 期第 1 回会合)では、『みんなのにちようび〜地域ほっとニュース〜』、『るーらる散歩』を合評しました。

### <合評番組>

#### ■みんなのにちようび〜地域ほっとニュース〜(25 分)

2013 年 6 月 2 日(日)放送

2012 年 10 月からスタートした日曜日のニュース情報番組。

週末に行われた催し物を中心に、家族で楽しんでもらえる番組をめざしてスタートしました。通常、キャスターを 2 人配置することでスタジオトークにボリュームを持たせ、ニュース以外にも映画情報コーナーやプレゼントコーナーを盛り込み、平日のニュース番組「タウンニュース」との差別化をはかりたいねらいもあります。これまでは週末の話題は早くても月曜日の放送でしたが、当番組を開始したことによりより早く地域の情報を伝えることが可能となりました。

今回ご覧いただく 6 月 2 日放送分は、Kビジョンで継続的に取材を続けている光市の社会人野球クラブチーム・光シーガルズの試合結果について、試合会場となった岡山県と電話中継を結び、取材にあたった梅田キャスターから伝えてもらうという企画を後半に入れました。試合映像は翌日の「タウンニュース」で紹介しましたが、試合結果と直後の選手の様子をより早く視聴者に届けることができたのではないかと思います。

#### ■るーらる散歩(15 分)

2013 年 6 月 10 日～16 日放送

2011 年 4 月にスタートした「るーらる散歩」。

団地など普段なかなか取材する機会のない場所を撮影することで、より多くの地域の方をテレビで紹介しようと企画した番組で、当時新入社員だった栗原リポーターが、地域を知るため、さまざまな場所を歩きおしゃべりや散歩を楽しむ、という内容で始まりました。基本的に事前のアPOINTは取らず、いわば行き当たりばったりのロケですが、だからこそ思いがけない出会いや発見があり、視聴者からも「地域のことを知ることができる」「散歩がしたくなる」と好評を得ております。

今回ご覧いただくのは「周南市小松原」編です。三丘温泉の歴史を感じる写真や地域で親しまれている“いぼもりさま”など、地元の歴史や慣習に触れた内容となっています。

<合評内容>

■『みんなのにちようび〜地域ほっとニュース〜』

- ・「タウンニュース」との差別化を図るという割に、番組からはその印象があまり感じられない。ニュースなのでバラエティーの方向に振ることもないが、ざっくばらんに進行した方がよい。スタジオだけでなく外で収録するなど、機動性を持たせるとおもしろくなってくるのではないか。最近の学生はテレビで撮影されることに慣れているので、学生をレポーターに起用してみてもどうか？
- ・番組を見ていて、行ってみたいと思う話題がいくつかあったが、場所が分からず残念に感じた等のご意見をいただきました。

■『るーらる散歩』

- ・日ごろ車で通りすぎている所をじっくりと歩いてさまざまなことを知ることができるのがよい。子どもは物怖じしないので、番組でレポーターがもう少し突っ込んでよい
- ・番組の冒頭と最後にイラストで取材した地域の地図をイラストで見せているが、もう少し大きく描かれているとわかりやすい
- ・地域の人による歴史証言は時に曖昧な内容を話していることも考えられるので、歴史的な事実に基づいた見解を取り扱う場合は注意した方がよい
- ・番組全体を見てみると、地域を紹介することが中心の番組なのか、人を紹介することが中心の番組なのか、それともその両方を取り上げた番組なのかかわかりにくい。レポーターの呼びかけも方言を使ったり、共通語を使ったりと曖昧になっている。どちらかに統一した方がよい
- ・もっと知りたいと思うところで、番組が終わってしまうことが多い。気になっている部分をレポーターが視聴者の代わりとなって追究するのは、おさえるべきコンセプトのひとつだと思う。地域の知らない部分を知ることができるのがケーブルテレビの特性でもあるので、かゆい所に手が届くと感じさせるようなポイントがほしい
- ・番組の最後で出演した人の名前をスクロールで紹介しているが、写真を付け加えて紹介してあげると喜んでもらえるのではないかと  
等のご意見をいただきました。

出席者は、末岡泰義委員長、梅本真里恵、河島 建、原田幸雄、なかはらかぜ、社側から長尾 一郎代表取締役社長、杉田昌士取締役専務、他制作部員 4 名でした。